

令和7年度学校経営計画書

学 校 名 三次市立君田小学校

学校長名 湯 浅 る み

I 学校の状況

学級数	5	児童数	26	教職員数	9
メールアドレス	kimita-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.kimita-e.hiroshima-c.ed.jp/				

II 学校教育目標

【君田中学校区小中一貫教育目標】

きみたを愛し 主体的に学び 心豊かで たくましい児童生徒の育成

【君田小学校教育目標】

めあて（夢）をもち 進んで やりぬく 児童の育成

【めざす児童像】

- 進んで学ぶ児童
- 思いやりのある児童
- 健康でたくましい児童

【めざす学校像】

- 児童が学ぶ喜びを実感する学校
- 児童・教職員にとって安心安全な学校
- 家庭・地域と協働して児童を育てる学校

III ミッション・ビジョン

【ミッション】本校の使命・存在意義

夢と希望をもち、ふるさと君田を誇りに思い、大切にする児童の育成

【ビジョン】本校の将来像

地域における文化・教育活動の拠点として保護者・地域から愛され、地域に感動を与える学校

IV 重点事項（努力事項）

1 特に育成する資質・能力

- 主体性・・・自分の目標（夢）に向かって進んで学習に取り組む
自分を律し、礼儀正しくルールを守る
- 伝え合う力・・・人の話をしっかり聞き、自分の考えをはっきり言える
明るく、温かい心を持ち、友達を大切にする。
- やりぬく力・・・たくましい精神力と体力、行動力を持つ
協力し、汗して働く

2 特に努力する事項

【経営方針】 「読書教育×読解力向上×コミュニティスクール」

児童に目標と目的を明確にもたせ、価値づけ、一人ひとりに役割を与えやらされるのではなく、自分たちでやりきらせる、子供主体の学びを大人が導く指導方法を追究する教育研究組織を創る。さらに、君田地域の自治活動に価値を見出す「みよし結芽人」の育成をコミュニティスクールの柱として地域と共創する体制を構築する

【研究内容】 教科書が読める より質の高い複式授業スタイルの確立 読書習慣の形成

- ① リーディングスキル向上のための実践の継続
- ② 健康教育、君田の読書 PBL 型授業、公立図書館や PTA 活動との連携等による読書文化の再構築
- ③ コミュニティスクール活動に進んで関わり地域と教育内容を共創する
- ④ ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実に迫る授業

V 中心価値・行動規範

【教育宣言】

法令等に則り，児童・保護者の視点に立った心のこもった教育を行います。

【行動憲章】

- 私たちは，学びあい，認めあい，励ましあいのある学校をめざします。
- 私たちは，だれもが安心して学び，安心して遊べる快適な学校をめざします。
- 私たちは，教育的愛情と使命感を持ち，よりよい教育をめざして一丸となって取り組みます。

VI 現状分析

外部環境	【支援的要因】 ☐ 自然環境に恵まれ，地域の「ひと・もの・こと」が充実している。 ☐ 地域の教育力の高さと協力体制及び支援がある。 ☐ 小中連携体制が整っている。 ☐ 読書教育（５４年）の伝統 ☐ 読解力向上授業の指定 ☐ 教職員配置	【強み】 ☐ 素直で折り合いをつけながら集団生活ができる子供 ☐ 活躍の場を設定しやすい児童数 ☐ 同僚性が高い職員集団 ☐ 協力と支援を惜しまない中学校職員 ☐ 学校行事，PTA 活動，地域活動に協力的な保護者 ☐ 郷土愛と支援にあふれる地域住民 ☐ 複式授業スタイルの確立	内部環境	【支援的要因と強みを生かした取組】 ☐ ゲストティーチャーの招聘等「学校×地域の協働」へのCSの展開 ☐ 学校行事や PTA 活動の見直しによる教育活動の充実 ☐ 小中９年間を見通した資質能力の育成 ☐ 子供が主体的に読書を行えるよう、子供の意見聴取の機会を確保し、取組に反映させる。 ☐ 完全複式を見通したさらなる授業スタイルの確立 ☐ RS 向上への取組の充実
	【阻害的要因】 ■ バス通学児童の下校時刻の変更が難しい。 ■ 校区が広く，少子化と高齢化が急速に進んでいる。 ■ 人間関係の固定化，多様性を欠いた情報や環境となりがちである。	【弱み】 ■ 人前で話す，自分の気持ちを書くことに苦手意識がある。 ■ 教科書が正しく読み取れない児童がいる。 ■ 高学年になっても自主的に学ぶ授業態度，授業規律が身につけていない。 ■ 生活習慣（メディア使用時間）が確立していない児童がいる。 ■ 家庭に読書習慣（新聞を含む）がなく、活字離れが進んでいる。 ■ 体力・体幹に課題が見られ，姿勢の保持が難しかったり集中力を欠いたりする児童がいる。		【弱みを克服し，阻害的要因を回避する解決策】 ☐ 教育課程（年間事業時数）の見直し ☐ 発達の背景の校内支援委員会の開催 ☐ 主体的に学ぶ力を育む授業研究（学習の手引） ☐ 基礎学力定着に向けた手立て，授業技術の研究（学習規律・音読・暗唱・学習量・ICTの活用） ☐ 授業交流・相互参観 ☐ 安全・安心を確立するための生徒指導規程の周知徹底 ☐ 学力・生活力の向上に繋がる小中連携の取組の充実

Ⅶ中期経営目標及び短期経営目標

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	
		取組内容・方策	評価：成果指標または具体的指標 (主として推進する部・担当)
主体的に学ぶ力を育む学びづくり【知】	読解力の向上	○ドリルタイムで教科書の音読、視写に取り組む。 ○家庭学習で、リーディングスキルノートに取り組む。 ○問題の意図を正しく読み取る指導を充実させる。	・学期末テスト（４教科）の全国平均以上の児童の割合 80%以上 ・市学力調査（４教科）の評定 1 の児童の割合 20%以下 ・児童アンケート「問題を読むとき、何を問われているかを意識している」90%以上
	質の高い複式授業スタイルの確立	○「みよし結芽育成研修会」に参加し授業研究を計画的に実施する。 ○実態に応じ学習リーダーを中心とした複式指導の充実をねらいとした授業研究・授業交流相互参観を行う。 ○ICT を活用し、主体的な学習を支援する。	・児童アンケート「自分の意見と比べながら最後まで人の話を聞き、自分の考えをもっている」80%以上 ・児童アンケート「授業中、友達の考えを大切にし、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」80%以上 ・職員アンケート「複式授業スタイルの確立をめざし、授業改善、ICT の活用に取り組んだ」80%以上
心づくり【徳】 伝えあう力の育成	子供主体の読書の取組の充実	○児童に読書計画を立てさせ、目標を達成するための取組を考え実行させる。 ○図書館司書と連携し、読書環境の充実と、児童の読書意欲の向上を図る。	・児童アンケート「読書目標が達成できた」70%以上 ・児童アンケート「読みたい本がある」80%以上
	夢を持ち、相手に挨拶・笑顔・笑声（えごえ）を届ける指導の充実	○児童会目標との連動 ○返事の必要性や仕方について児童と共に考え実施する。 ○他者からの評価を工夫する。	・児童アンケート「夢（なりたい自分・目標）があります」80%以上 ・児童・職員アンケート「明るい笑顔であいさつをしています」80%以上 ・児童・職員アンケート「大きな声で返事ができます」80%以上
	生徒指導の充実	○縦割り班活動の充実。 ○学校行事における異年齢交流の充実 ○委員会による児童が主体の行事の実施	・児童・職員アンケート「楽しい学校にするために周りの人と協力している」80%以上
からだづくり【体】 自己新記録の樹立	立腰・姿勢の定着	○お話朝会での保健指導の実施 ○授業開始時の「立腰」「黙想」の徹底	・児童・職員アンケート「PPG（良い姿勢）を意識して学習しています」80%以上
	体力の向上	○前年度の結果を踏まえた目標の設定 ○体力の向上に向けた講師の招聘 ○重点目標の種目の記録が向上するような運動に取り組む。	・上体おこし、ソフトボール投げの種目において、前回の自分の記録を上回る児童の割合を 70%以上にする。
【信頼される学校】 関心度・信頼度の向上	学校運営協議会を核とした学校づくり	○保護者・地域の学校支援促進	・ゲストティーチャー招聘計画の実施率 100%
	働き方改革の推進と学校体制の確立	○コンプライアンスの徹底 ○週 2 回の定時退校日の確実な実践	・職員アンケート「何をするための仕事かの根拠を意識している。」90%以上 ・職員の時間外勤務時間 月 45 時間以内 90%以上